

人権学習展開例

●主題名 外国人の人権問題を考える

●教材名 ヘイトスピーチの背景

●人権学習の視点 個別的な視点「外国人の人権問題」

●主題・教材について

平成28年に施行された「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」を踏まえて、ヘイトスピーチのない社会の実現を目指し、ヘイトスピーチとは何か、どこにどのような問題があるのか、自分たちに何ができるのかをともに考えさせたい。

また、ヘイトスピーチの背景にある偏見に着目させ、自身も知らず知らずのうちに偏見をもってしまう可能性があること、偏見を放置することが、より激しい差別につながることを理解させたい。

さらに、本教材を通して、メディアリテラシーの一つである、情報を批判的に読み解く力の大切さに気づき、インターネット上にある差別を助長する情報などに対して、どのように対処すべきなのかを考えさせたい。

●ねらい

ヘイトスピーチの背景にある偏見等の問題点を見極める目とヘイトスピーチなどの差別的言動を許さない姿勢を培い、全ての人個人として等しく尊重される社会を築こうとする態度を身につけさせる。

●関連する教材

人権学習資料集(中学校編Ⅱ) 「9 ヘイトスピーチって何？」

人権学習資料集(高等学校編) 「12 心の国際化をめざして～外国人とともに～」

人権学習資料集(高等学校編) 「13 みんなに知ってほしいこと」

●本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○ヘイトスピーチの概要について理解させる。	一斉	○配付資料①を見る。	○ヘイトスピーチの概要を説明する。 ○「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」が施行されたことにもふれる。	配付資料①
展開	○ワークシートの問題点A～Dを考えさせる。また、配付資料②(ヘイトのピラミッド)のどの部分に当てはまるのかを考えさせる。	個別ペア	○配付資料②を使ってワークシートの(1)に取り組む。	○問題があるとすれば何が問題かを考えさせる。 ○あわせて自らの意識についても注目させる。 ○ヘイトスピーチを行ったり、拡散するため、インターネットが巧みに利用されていることを助言する。	ワークシート 配付資料②

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
展開	<p>○配付資料②を参考にしながら、A～Dの中からヘイトスピーチに当たるものを抽出させる。</p> <p>○不当な差別的言動を放置することの問題点を考えさせる。また、防ぐためにはどうすればよいかも考えさせる。</p>	個別	<p>○ワークシートの(2)に取り組む。</p> <p>○ワークシートの(3)に取り組む。</p>	<p>○本時に扱うヘイトスピーチとは特定の民族や国籍の人々などを地域社会から排除しようとする不当な差別的言動であることに留意する。</p> <p>○不当な差別的言動(ヘイトスピーチ)は誰に対しても許されないことを付け加える。</p> <p>○ヘイトスピーチを放置することがさらに大きな人権侵害につながる可能性があることに気づくように導く。</p>	
	ヘイトスピーチのない社会を築くために何が必要か考えよう				
	<p>○ヘイトスピーチのない社会を築くために必要な態度について考えさせる。</p> <p>○ヘイトスピーチに関する国際的な動向を説明する。</p>		<p>○ワークシートの(4)に取り組む。</p> <p>○配付資料③を見ながら教師の話聞く。</p>	<p>○ヘイトのピラミッドから答を引き出すように導く。</p> <p>○ヘイトスピーチに関する国際的動向として、人種差別撤廃条約などで人種差別の一形態として禁止されていること、自由権規約で表現の自由も行使には責任と義務があり一定の制限を課すことができることなどを示す。</p>	配付資料③
まとめ	○本時の学習を振り返らせる。	個別	○本時のまとめを聞く。		

●評価

- ・ヘイトスピーチの実態を理解し、その問題点について深く考えることができたか。
- ・在日外国人の人権について考え、すべての人が個人として等しく尊重される社会を目指す意欲・態度を身につけることができたか。